

スポーツ回顧

鳥取県 2014

◆◆16◆◆

陸 上

全国小学生(8月)女子400リレーで布勢T.C.(岸本百桃、吉田明香里、清水美京、尾崎星、大田絵恋)が52秒10の学童山陰新記録で優勝した。同種目

布勢T.C.が全国小学生V

400R

女子走り高跳び 寺谷倉吉 高校総体2位

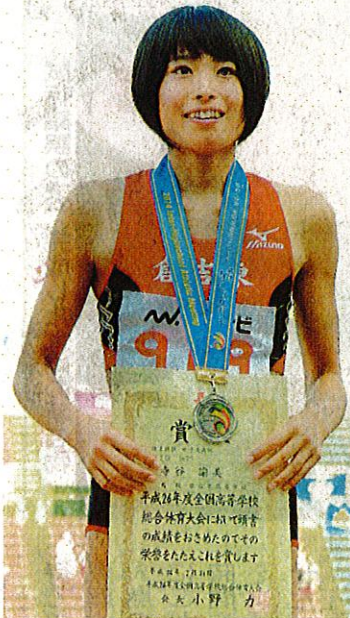
の優勝は眞勢24年ぶりた。で、明るい話題となっ



全国小学生陸上女子400リレーで優勝した布勢T.C.

さらに男子走り高跳びで奥田大(上小鴨ク

が1.45を跳んで2位。同80リレーの住友悠馬(関金小)は5位、同100リレー5年の山口大凱(布勢T.C.)は6位と健闘した。高校生では、女子走り高跳びの寺谷諭美(倉吉東)が南関東総体(7月)で1.45を跳び準優勝。日本選手権(6月)、長崎国体(10月)でそれぞれ4



走り高跳びの寺谷倉吉が南関東総体で2位に入った

位に入った。南関東総体では、100リレーの藤井亮汰(倉吉総合)が5位、3000リレーで東島清純(米子松蔭)が6位と善戦した。3人は来年大学に進学予定で、次の舞台でも活躍に期待したい。

中国新人(10月)男子800リレーで優勝した住谷俊亮(鳥取商)、県高校総体(6月)男子100リレーで10秒8を出し、国体などに出場した坂田育斗(鳥取育英高)ら成長著しい1年生も楽しみだ。中国五県対抗(8月)男子ハンマー投げの赤穂弘樹(鳥取陸協)が

大会新記録となる68リ

30で優勝。全日本実業団(10月)では男子やり投げの高力裕也(鳥取県体協)が75リ45で頂点に立った。長崎国体の成年男子110リレーで、連続入賞数を7に伸ばした西沢真徳(県文化観光スポーツ局)の活躍も見事だった。しかし県勢の入賞者は2人にとどまり、鳥取陸協の石手正一郎強化部長は「選手たちは力をつけているが」と残念そうに振り返る。人口が少ない県内で競技力を維持するために「学校や組織の枠を越え、時間をかけて選手

たちを確実に成長させることが必要」と強調した。中学生のジュニアオリンピック(10月)で、2年女子走り高跳びの岡崎汀(三朝)が4位、同男子110リレーの長谷川迅平(中ノ郷)が8位。同男子1500リレーで北脇秀人(鳥取南)は4分7秒97をマーク。中学2年の県記録を更新し、7位入賞も果たした。県中体連の坂口英樹専門委員長は「全中で入賞者はいなかったが、2年生が活躍している。来年はさらにレベルアップして、全中でも活躍してもらいたい」と期待を込めた。全国中学駅伝(12月)に初出場した中ノ郷男子が32位、八東女子が34位。全国高校駅伝(12月)では鳥取育英女子が27位。米子松蔭男子が昨年の順位を上回る31位だった。